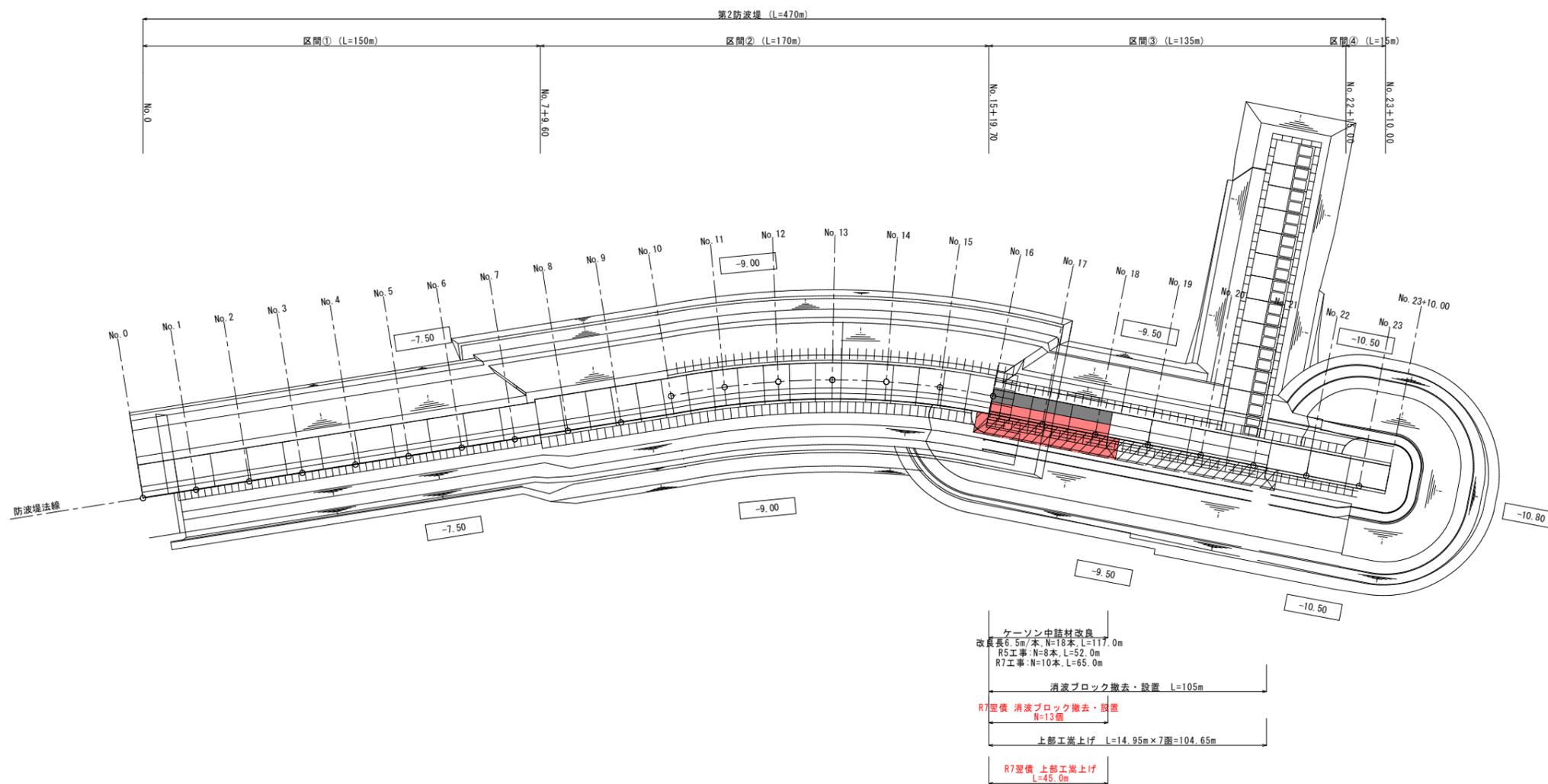


第2防波堤 計画平面図 S=1:1000



7 翌償 実設計

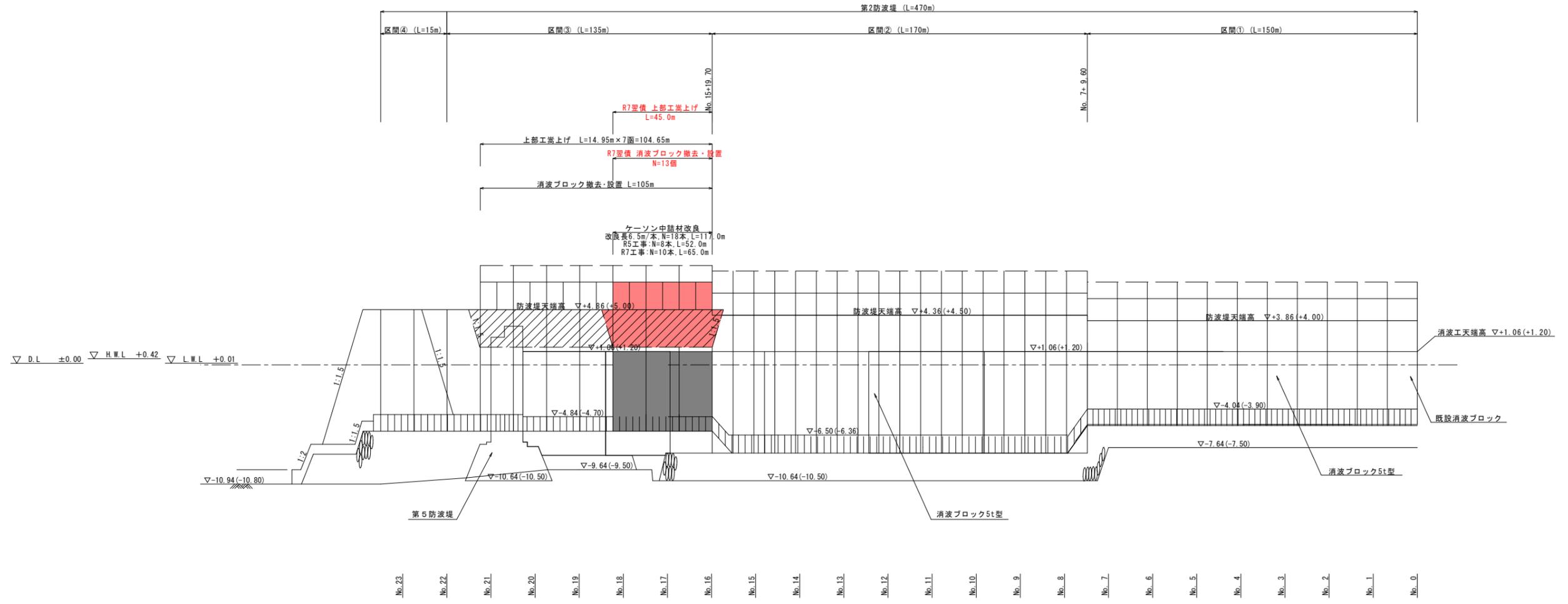
港湾名	鳥取港		
鳥取港第2防波堤改良工事			
図名	第2防波堤 計画平面図		
位置	鳥取市港町地先		
縮尺	1:1000	単位	M
図号	全6葉中の内1		
令和7年度施行		鳥取県	
鳥取港湾事務所			

※ 本図は、測量に基づく延長ではないため、施設延長により、数量変更する。

※A3出力の場合は表示の2分の1の縮尺

第2防波堤 縦断図

V=1:200
H=1:1000



7 翌債 実施設計

港湾名	鳥 取 港		
鳥取港第2防波堤改良工事			
図 名	第2防波堤 縦断図		
位 置	鳥 取 市 港 町 地 先		
縮 尺	V=1:200 H=1:1000	単 位	M
図 号	全 6 葉 中 の 内 2		
令和 7 年度施行		鳥 取 県	
鳥 取 港 湾 事 務 所			

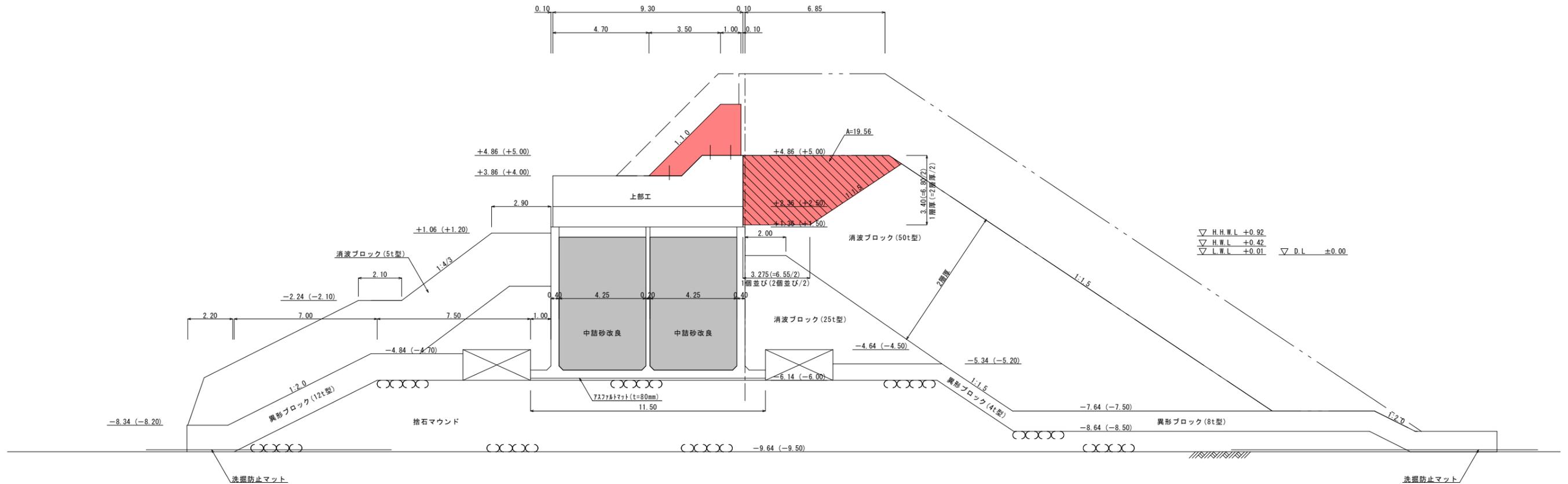
※ 高さ基準は、D.L. ()内高さはR3.10月見直し前
 ※ 目地位置は、既設に合わせて設置すること。
 ※ 消波工は、支保工設置のための「ブロック撤去・設置」(1層厚)を計上している。
 施工上必要最小限の数量とする。

※A3出力の場合は表示の2分の1の縮尺

第2防波堤 標準断面図 S=1:100
区間③ (No.18付近)

凡例

———	(1段階)
- - - - -	(2段階)
—————	(3段階)



▽ H.H.W.L	+0.92	▽ D.L	±0.00
▽ H.W.L	+0.42		
▽ L.W.L	+0.01		

数量表【第2防波堤(区間③)】

(14.95m当り)

種別	細目	算式	数量
削孔	φ250	$L=3.00 \times 3 + 3.58 \times 3 = 19.74m$ (ケーソン中詰材改良詳細図より)	0.969 m ²
中詰改良	高压喷射搅拌	(ケーソン中詰材改良詳細図より)	754.574 m ³
消波ブロック (撤去・設置)	水上	$19.56 \times 14.95 = 292.422$	4 個
		$292.422 \times (1 - 0.59) / 20.935 \times 2/3$	
コンクリート	f _{ck} =18N/mm ²	$1/2 \times (1.00 + 4.50) \times 3.50 \times 14.95 = 143.894$	108.014 m ³
		$1/2 \times (1.90 + 2.90) \times 1.00 \times 14.95 = -35.880$	
		$\Sigma = 108.014$	
型枠		$(2.50 \times 1.00 + 3.50 \times 1.4142) \times 14.95$	111.373 m ²
妻型枠		$[1/2 \times (1.00 + 4.50) \times 3.50 - 1/2 \times (1.90 + 2.90) \times 1.00] \times 2$	14.450 m ²
目地材	t=10mm	$[1/2 \times (1.00 + 4.50) \times 3.50 - 1/2 \times (1.90 + 2.90) \times 1.00] \times 2$	14.450 m ²
チップング		$(1.90 + 1.00 \times 1.4142 + 1.60) \times 14.95$	73.467 m ²
さし筋	SD345	D19×0.70m, w=0.70×2.25×45 (上部工詳細図より)	70.88 kg
削孔	φ24×200L		45 箇所
接着系アンカー	R-19相当品		45 個
支保	足場	単管	14.95 m
		単管傾斜	2.50×1.00×14.95 = 37.38 m ²
		3.50×1.4142×14.95 = 74.00 m ²	

消波ブロック体積 V=20.935 m³

消波ブロック空隙率 p=59% (斜面被覆工)

※ 高さ基準は、D.L. ()内高さはR3年10月見直し前

※ さし筋は純かぶり7cm確保すること。確保できない場合は、位置をずらすこと。

※ 上部工目地は、ケーソン端及びケーソン中央部に設置する。

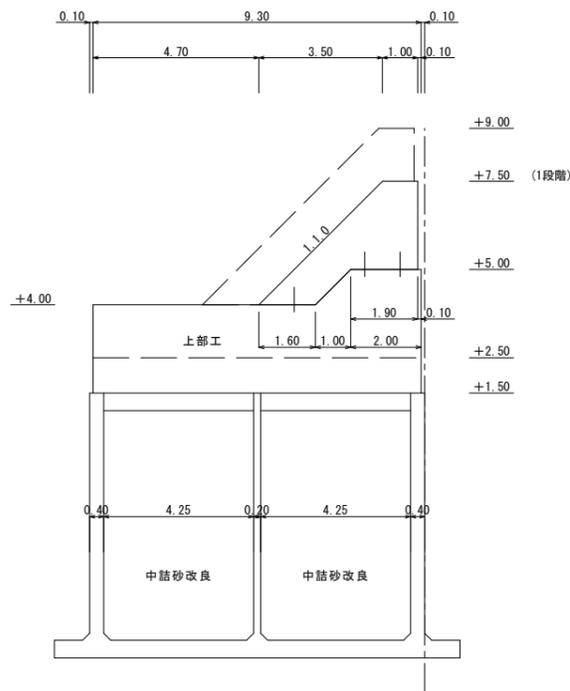
7 翌價 実設計

港湾名	鳥取港		
鳥取港第2防波堤改良工事			
図名	第2防波堤 標準断面図 区間③ (No.18付近)		
位置	鳥取市港町地先		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全6葉中の内 3		
令和7年度施行		鳥取県	
鳥取港湾事務所			

※A3出力の場合は表示の2分の1の縮尺

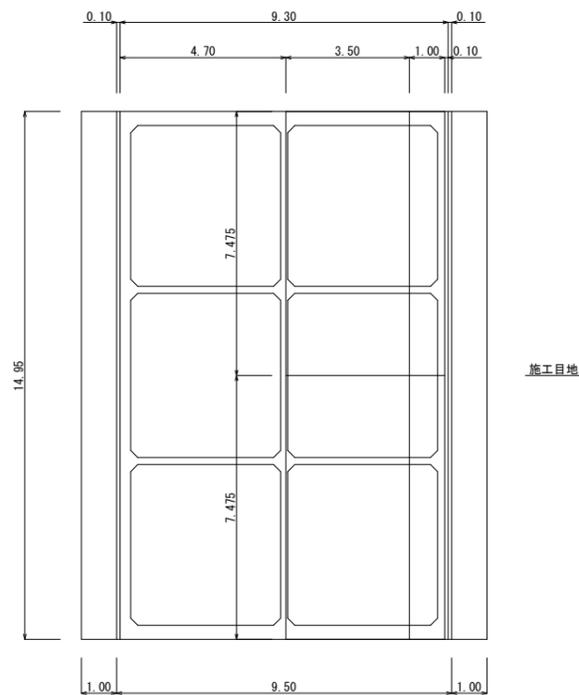
第2防波堤 上部工詳細図 S=1:100
 区間③ (No. 18付近)

断面図 S=1:100

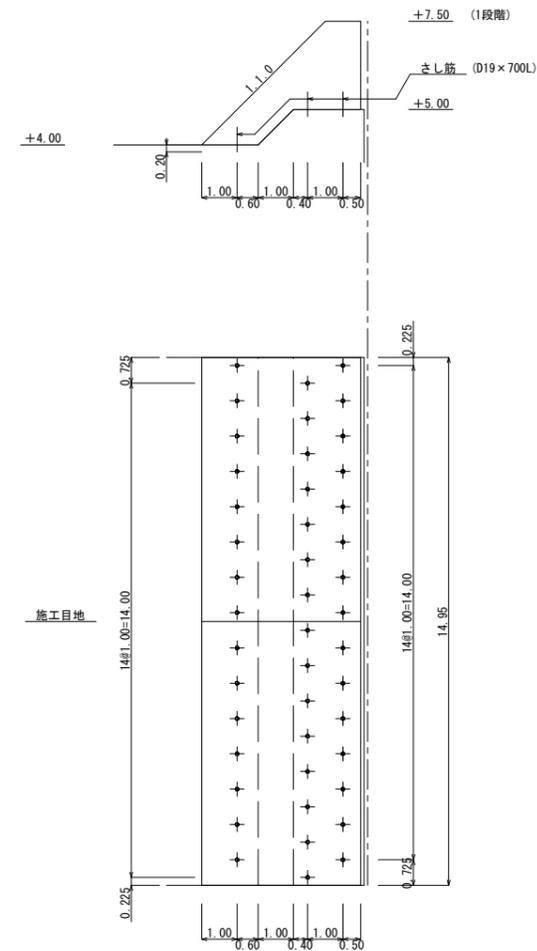


凡例
 — (1段階)
 - - (2段階)

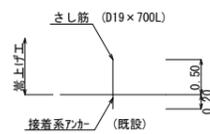
平面図 S=1:100



さし筋配置図 S=1:100



さし筋 S=1:50



※ 接着系7カ-はR-19相当品を使用のこと

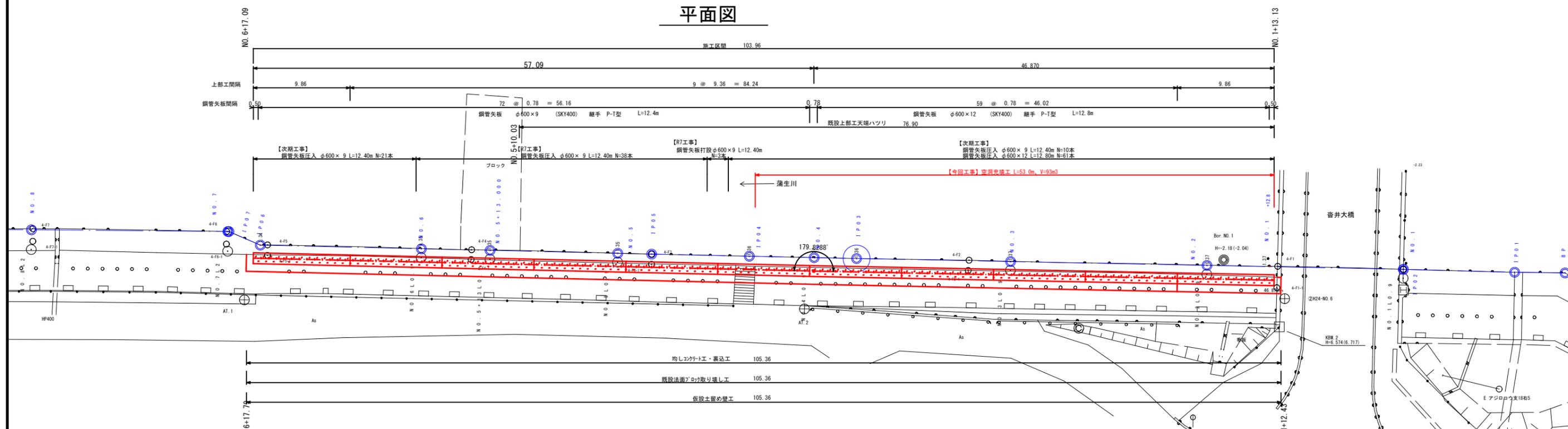
7 翌債 実施設計

港湾名	鳥取港		
鳥取港第2防波堤改良工事			
図名	第2防波堤 上部工詳細図 区間③ (No. 18付近)		
位置	鳥取市港町地先		
縮尺	1:100	単位	M
図号	全6葉中の内 4		
令和7年度施行		鳥取県	
鳥取港湾事務所			

※A3出力の場合は表示の2分の1の縮尺

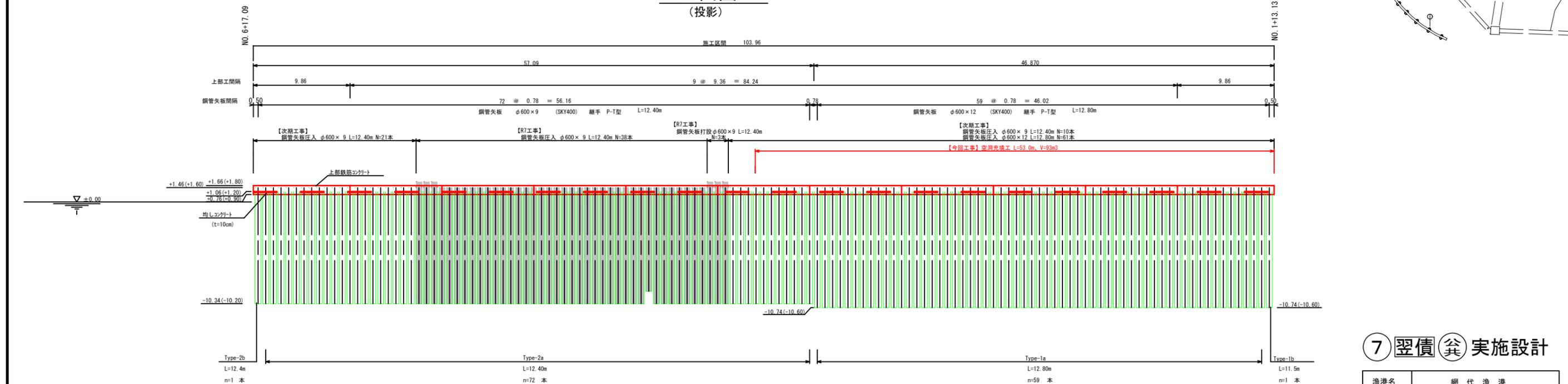
一般図 S=1/200

平面図



正面図

(投影)



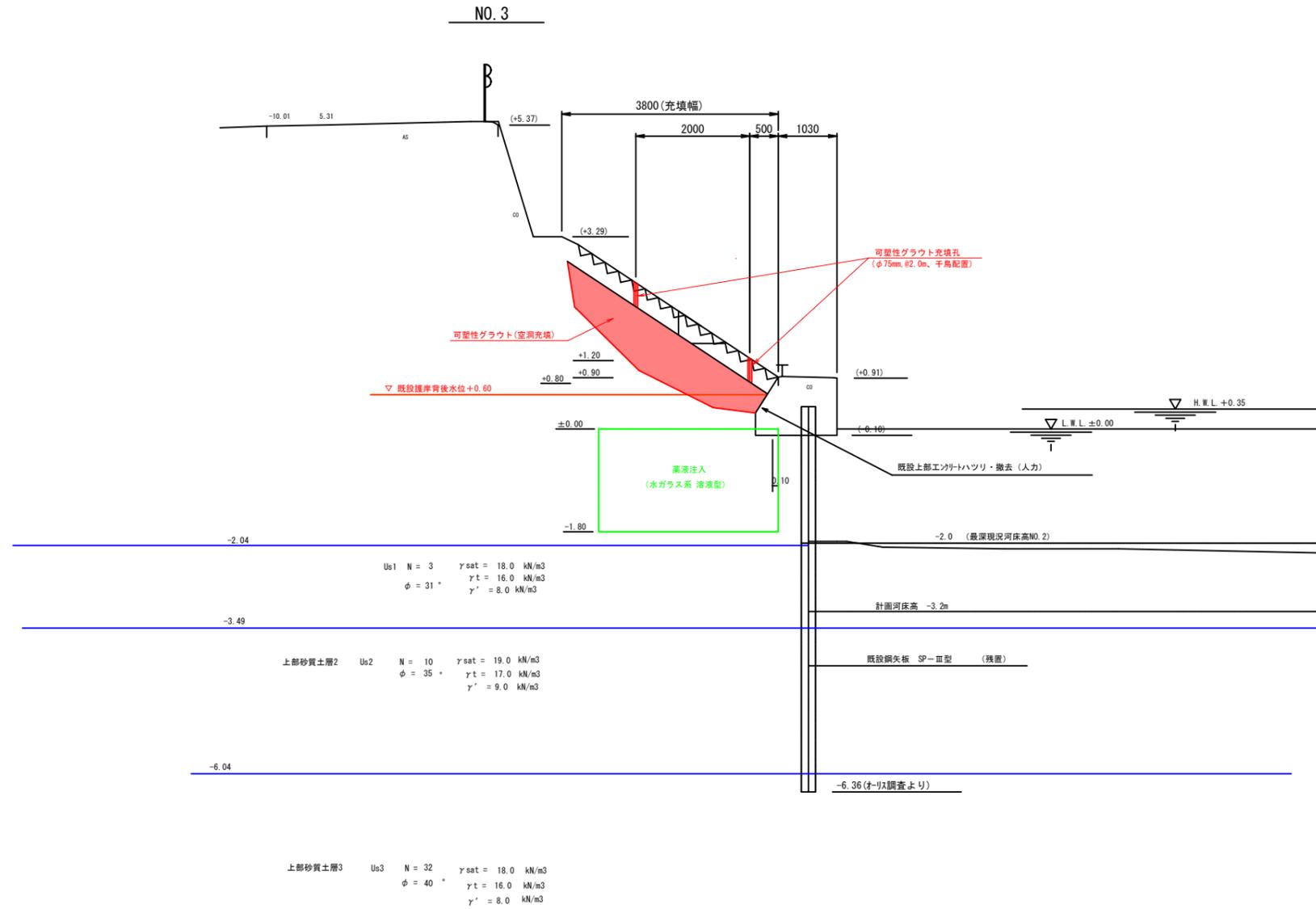
7 翌債 実施設計

漁港名	網代漁港		
位置	岩美郡岩美町大谷		
工事名	網代漁港機能保全工事		
図名	一般図(平面図)		
縮尺	1:200	単位	M
設計	製図		
図号	全6葉中のうち5		
令和7年度施行		鳥取県	
鳥取県鳥取港湾事務所			

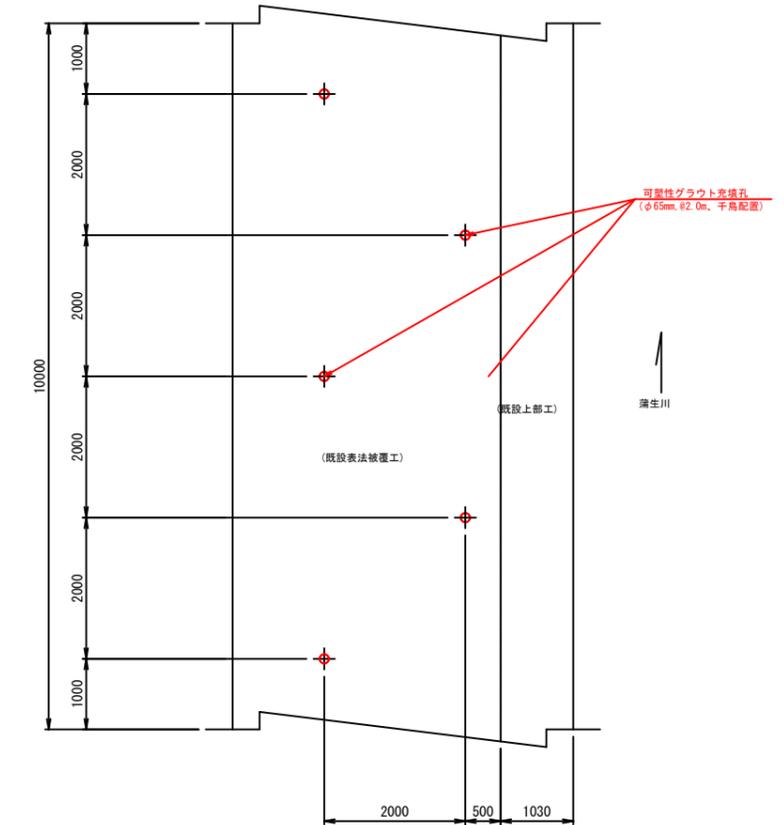
※A3出力の場合は表示の2分の1の縮尺

空洞充填(可塑性グラウト充填)工計画図

標準断面図 (空洞充填(可塑性グラウト充填)工)



充填孔子配置



7 翌債(共)実施設計

漁港名	網代漁港		
位置	岩美郡岩美町大谷		
工事名	網代漁港機能保全工事		
図名	空洞充填(可塑性グラウト)工施工計画図		
縮尺	1:50	単位	M
設計		製図	
図号	全6葉中のうち6		
令和7年度施行 鳥取県			
鳥取県鳥取港湾事務所			

- 注)
- 既設上部工の背面コンクリート線は、推定線であるので、既設法面を人力にて取り壊す際に確認すること。
 - 既設法面の構造は不明であるので、取り壊しの際に確認すること。